

ユーザーレポート ～0の証明～

USER REPORT

測定ミスのない、高い検知精度に信頼を寄せる

三八五通運株式会社

三八五通運株式会社

60年の歴史を持つ三八五通運株式会社は、一般貨物自動車運送、貨物利用運送（鉄道・自動車）を主力事業としている。東日本を中心に輸送・保管・流通加工と情報を組み合わせた総合物流システムを構築、低コスト・高品質輸送で顧客から評価を得ている。同社が求めたのは、乗務員との信頼関係を損なうことのない、高い検出精度を持つアルコール検知器だった。



アルコール測定器導入に 早くから取り組む

星常務取締役：自動車運送業界は、参入に障壁がなく、設備投資も少なくすみますが、そのぶん他社との競争が激しいものです。お客様から仕事を頂くためには信用が大切であり、飲酒運転禁止は当然のごとく就業規則に明記しています。簡易型のアルコール検知器も6年以上前に導入し、乗務員の安全運転の意識付けに力を注いできました。検知器導入は東北地区の運送事業者の中で当社が最も早かったと思います。

しかし、導入はしたものの簡易型では検知精度が低く、乗務員が本当に飲酒をしたのか数値として正しく証明できないのは問題だと感じていました。



価格よりも 「法律に耐えられる検知精度」

星常務取締役：他社からもアルコール検知器のセールスがありましたが、当社が重視したのは、価格ではなく「法律に耐えられる検知精度」です。

アルコール検知は、お酒を飲んでいなくても出てしまう場合があります。それはケトン体質などの問題です。

また、今後は遠隔地での飲酒検査にも対応しなくてはなりません。万一、飲酒運転の報告があれば乗務員はその場で処分を受けますが、検知反応が誤りだったとなれば、会社の解雇権乱用になり、訴訟問題が起きてしまうでしょう。「アルコールのみに反応する、誤差問題に強い検知器」として当社が選んだのがALC-PRO IIだったのです。

佐々木取締役：現在、アルコール検査は、点呼時ではなく出社時に実施しています。点呼は業務の一環であり、検査は業務開始前に行なうべきだと考えるからです。顔写真と測定データが残るALC-PRO IIの導入について乗務員の抵抗は特にありませんでした。飲酒に対する社会の目がますます厳しくなる中、お客様の信頼と評価を頂くためにも必要だと皆が認識しています。

運送事業者にとってアルコールチェックは今や不可欠だが、乗務員の人権侵害になってはならない—
三八五通運の考えに答えるALC-PRO IIは、飲酒運転防止のさらなる意識付けを社内に促し、業務の信頼性向上に貢献している。



ご利用機器

パソコン連動記録型測定器

ALC-PRO II

取材ご協力

三八五通運株式会社

常務取締役 星 憲治 様
取締役盛岡支店長 佐々木 幸男 様

〒020-0891 岩手県紫波群矢巾町
流通センター南2-4-13
TEL 019-638-3363
FAX 019-638-5218
URL <http://www.miyago.co.jp/mtu/>

